

さまざまな人生を歩んできた人々が集まり
第二の人生が始まる...



地域は家族!



身寄りのないお年寄りの生活を支える
(家探しや引越、葬儀まで...!)

労働者 で 経営者



子ども会の復活を大先輩とともに...
餅つきってこんなに大変だったんだ?!



今の子育てには、夜遅くまで過ごせて
ごはんも食べられる(第2のおうち)が必要だ!

成果主義・効率優先・格差・孤立がすすむなか、働くことに生きがいを持っていない時代。それでも国は経済成長を最優先課題として拡大再生産を繰り返し、グローバル化に突き進んでいます。働く場を求めても他人と比べられ、選別され、未来への希望が見出せなくなっている若者たち。いっとうどうなるかもわからない非正規雇用の蔓延。そして居場所さえ失う人々と、大きな不安が私たちが覆っています。このような時代、私たちは何を求め、未来をみつめていくのでしょうか。世の中のめまぐるしい変化の中で、あらためて人と人、地域、社会との結びつきを再生することが求められています。

自分たちの明日を自分たちで耕しはじめている人々がいいます。
雇う者、雇われる人と言う関係ではなく経営方針から地域に必要な仕事おこしまで、一つ一つをみんなで決めていく...ちょっと面倒臭い、けど、てんてこ舞いしながら話し合いを繰り返すなかで、「ハタラキガイ」や「キズナ」が育まれます。どこかにある桃源郷ではなく、地域の中に溶け込んで、こころを合わせ、力を合わせ、助け合っていていく。そこには新しい時代に向けてのかすかな光への芽生えがありました。

森 康行 監督作品

Workers ワーカース

ヨーロッパではすでに定着!

ワーカースコープとは...? 一人一人が出資し、平等な立場で事業、経営に参加できる働く者の協同組合。つまり各々が経営者であり労働者。地域に必要とされている仕事を協同の力でおこし、必要な資金も自らで集め、事業計画、報酬等全てを合議制で決め、全員が経営にも責任を持つ。協同組合の理念・原則のもとで社会連帯を求める「協同労働の協同組合」です。

監督: 森 康行 1950年静岡県生まれ。1978年、短編の文化映画「下町の民家」(東京都の制作)で初監督。以後、数多くの短編記録映画を生み出すと共に、テレビ・ドキュメンタリーの演出をこなしている。主な作品として、「ピキ二の海は恐れない」(キネマ旬報文化映画ベストテン10位)、「渡り川」(キネマ旬報文化映画ベストテン1位・毎日映画コンクール記録映画文化賞)、こばんは」(キネマ旬報文化映画1位・毎日映画コンクール記録映画文化賞・第1回日本記録映画大賞)、「かすかな光へ」(キネマ旬報文化映画8位)。

自主上映団体 募集中
【連絡先】 映画「ワーカース」全国上映普及委員会
TEL: 03-6907-8032 FAX: 03-6907-8031
E-MAIL: workers-movie@roukyou.gr.jp

2013 9/14 ロードショー! シネマスコーレ

9/14(土)~20(金) 2回上映 10:20~ 14:00~
9/21(土)~27(金) - 10:20~
名古屋市中村区権町8-12 アートビル1階
TEL: 052-452-6036 名古屋大駅大門口より徒歩分

当日1500円 / 学生1300円 / シニア(60歳以上)1100円 / 特別鑑賞券1200円
【お問合わせ】 ワーカースコープ東海事業本部 tokaikh@roukyou.gr.jp TEL: 052-222-3850

